

あなたの農業に生かしませんか？

農業関連補助事業いろいろ

農業の経営安定や生産力増強を図るため、各種補助事業を実施しています。事業実施の要望は随時受け付けていますので、それぞれに合った事業を見つけ、有効に活用してみませんか？

またここで紹介する以外にも補助事業があります。新たな取り組みを計画している人は、気軽に相談してください。



「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業

パイプハウスや低コスト耐候性ハウスなどの生産施設整備や、省力機械などの導入に対し支援します。

また老朽化した鉄骨ハウスやガラス温室の改修に対しても、支援があります。

補助率／3分の1以内(生産者団体など)、4分の1以内(認定農業者など)

実施主体／認定農業者、3戸以上の農業者で組織する団体など

園芸生産利用拡大支援事業

耕作放棄地(自作地を除く)を再生し、露地野菜などを生産する場合、その生産や出荷に必要な機械などの整備に対し支援します。

補助率／3分の1以内(耕作放棄地を0.2ha以上再生)、2分の1以内(耕作放棄地を0.5ha以上再生)、3分の2以内(耕作放棄地を1ha以上再生)

実施主体／認定農業者、3戸以上の農業者で組織する団体など

飼料生産拡大整備支援事業

耕作放棄地(自作地を除く)を再生し、トウモロコシやホールクroppサイレイジ用稲などの自給飼料の生産拡大を行う場合、その取り組みに必要な飼料収穫用ローラーや収穫機、梱包機など、共同で利用する機械の整備に対し支援します。

補助率／3分の1以内(耕作放棄地の畑0.2ha以上、または水田0.1ha以上再生)、2分の1以内(耕作放棄地の畑2ha以上、または水田0.1ha以上再生)

「環境にやさしい農業」技術導入支援

「有機質資材施用技術」「化学肥料低減技術」「化学合成農薬低減技術」の導入に伴い、必要な堆肥散布機や防蟻灯などの機械整備、堆肥舎などの施設整備、天敵等生物農薬や防虫ネットなどの資材導入に対し支援します。

上、または水田0.5ha以上再生)、3分の2以内(耕作放棄地の畑5ha以上、または水田1ha以上再生)

実施主体／3戸以上の農業者で組織する飼料作物生産団体など

環境保全型農業直接支援対策事業

化学肥料、化学合成農薬の使用を通常の2分の1以下に抑えた上で、カバークroppや有機農業など、環境保全に効果の高い営農活動に対し支援します。

補助単価／最大8,000円(10a当たり)

実施主体／エコファーマー認定を受けた農業者など

「環境にやさしい農業」技術導入支援

「有機質資材施用技術」「化学肥料低減技術」「化学合成農薬低減技術」の導入に伴い、必要な堆肥散布機や防蟻灯などの機械整備、堆肥舎などの施設整備、天敵等生物農薬や防虫ネットなどの資材導入に対し支援します。

減技術」の導入に伴い、必要な堆肥散布機や防蟻灯などの機械整備、堆肥舎などの施設整備、天敵等生物農薬や防虫ネットなどの資材導入に対し支援します。

50万円)

補助率／2分の1以内(機械・施設の整備)、3分の1以内(資材の導入)

実施主体／3戸以上の農水産業者で組織する団体、農水産業者営む法人など

実施主体／エコファーマー認定者(見込みを含む)や、ちばエコ農産物の認証者(見込みを含む)

農産産地支援事業

が、3戸以上で組織する団体

特色ある産地づくりや食料自給率の低い麦・大豆の生産への取り組み、また米や麦、大豆、落花生などの優良種子の生産を担うなど、産地の生産力を確保するため、必要となる共同で利用する機械や施設などの整備に対し支援します。

補助率／3分の1以内

実施主体／3戸以上の農業者で組織する団体など

地域イメージを生かした商品開発、PR活動など、新たな「旭の顔」となる旭ブランドの創出に向けた取り組みに対し、支援します。

問い合わせ先
農水産課振興班
☎ 68・1175

補助率／2分の1以内(限度額)

旭ブランド創出支援事業

廃プラスチック収集時に放射線検査を実施

使用済みビニールなどの廃プラスチックの収集時に放射線検査を実施することになり、基準値(0.23マイクロシーベルト/時間)を超えたものは処分できなくなりました。適正な処理を進めるため、次のことに注意しましょう。

- 廃プラスチックに付着した土などは、できる限り除去しましょう。特に土中にあった部分や、汚れが目立つ部分は洗い流しましょう。
 - 梱包する際、石やゴム、木片などの異物が混入しないよう注意しましょう。
 - 廃プラスチックの種別を記入し、梱包規格を守りましょう。
- ※放射線量の数値は、土などの付着物によって高くなる可能性があります。